

## 問題

「情報工学レクチャーシリーズ アルゴリズムとデータ構造」について、教科書 p.28 を参考にし  
て、完全 2 分木を実装する。ただし、以下の条件に従うとする。

- (1) 木の高さは最大 10 とする。
- (2) switch 文は使用しない。
- (3) 無限ループは使用しない。
- (4) 単一の命令文を含む繰り返し・条件処理の場合でもカッコを記述すること。

## 入力の条件

教科書の実現に従って、先頭から完全木を配列で実現する例に沿って整数を 1 行に 1 個ずつ入力  
する。1 行目 h は木の高さ、2 行目は節点に含まれる要素を表す。

— 入力 —

```
h
v1
v2
v3
.
.
.
```

## 出力の条件

各レベルの節点の数値を左から出力する。整数値は 1 文字の空白文字で区切る。行末は改行を含  
む。行末の手前に空白文字を含んでもよい。

— 出力 —

```
1 v1
2 v2 v3
3 v4 v5 v6 v7
.
.
.
```

出力

.

## 実行例

入力 1

2  
1  
2  
3

出力 1

1 1  
2 2 3

## 提出の条件

提出時のファイル名は下記に従うこと。

メインプログラムの指定

プロジェクト名 algo-data-4-1

main 関数が含まれているファイル名 algo-data-4-1.c

提出時に ZIP 形式に圧縮して提出する。コンパイルに必要なファイルも含めること。

main 関数が含まれているファイル名 algo-data-4-1.c

提出時のアーカイブファイル名 algo-data-4-1.zip